

製品名: NOTCH4 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82959**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | ICC,ELISA,FC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | ICC 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 209.6kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | NOTCH4 |
| 別名 | INT3 |
| 遺伝子 ID | 4855.0 |
| SwissProt ID | Q99466 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト NOTCH4 (AA: 追加 118-357) の精製された組み換え断片。 |

背景

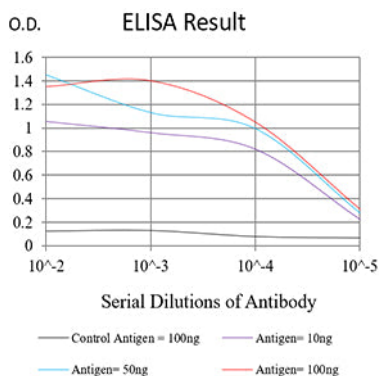
この遺伝子は NOTCH ファミリータンパク質のメンバーをコードします。この I 型膜貫通タンパク質ファミリーのメンバーは、複数の上皮成長因子様 (EGF) リピートからなる細胞外ドメインと、複数の異なるドメインタイプからなる細胞内ドメインを含む構造特性を

共有しています。Notch シグナル伝達は進化的に保存された細胞間シグナル伝達経路であり、Notch ファミリー受容体が対応するリガンドに結合することで、物理的に隣接する細胞間の相互作用を制御します。コードされているプレプロタンパク質は、トランスゴルジネットワークでタンパク質分解処理され、2つのポリペプチド鎖が生成されます。これらのポリペプチド鎖はヘテロ二量体を形成し、成熟した細胞表面受容体を形成します。この受容体は、血管、腎臓、肝臓の発達に関与している可能性があります。この遺伝子の変異は統合失調症に関連している可能性があります。選択的スプライシングによって複数の転写バリエーションが生じ、そのうち少なくとも1つはタンパク質分解処理されるアイソフォームをコードします。

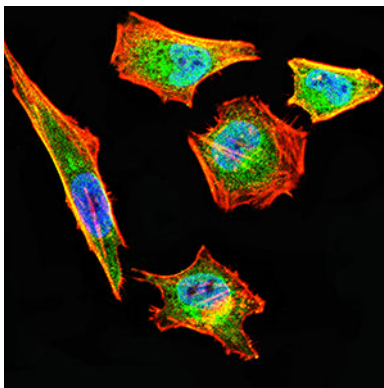
研究分野

ノッチシグナル伝達経路

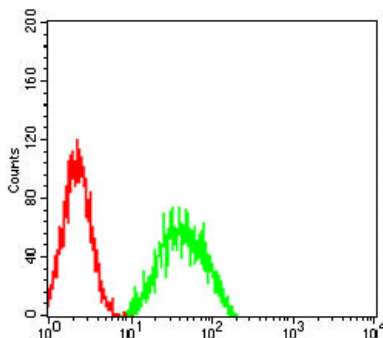
画像データ



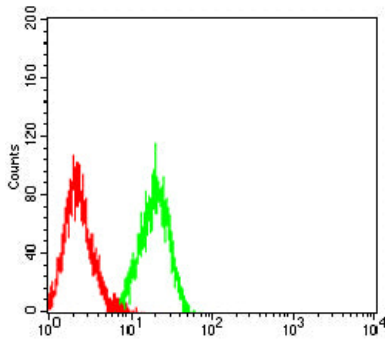
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



NOTCH4 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識したアクチンフィラメント。



NOTCH4 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



NOTCH4 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。